



「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—



ウポポイ

NATIONAL AINU MUSEUM and PARK

民族共生象徴空間

北海道白老町に2020 OPEN!

令和2年4月9日

令和2年度のi-Construction推進に向けた新たな取組を行います！ ～簡易型ICT活用工事とICTサポート制度の開始～

北海道開発局では、地域を支える建設業の健全な発展を後押しするため、建設業等の働き方改革の取組を行っています。働き方改革の重要な取組の一つである i-Construction[※]の普及促進に向け、令和元年度に北海道開発局 ICT 活用推進部会を設置し、令和2年度の i-Construction 推進に向けた新たな取組について決定しました。

○ ICT活用工事の取組拡大(簡易型ICT活用工事の実施)

中小規模工事への普及拡大に向けて、ICTの部分的な活用についてICT活用工事の対象とします

- ・部分的活用においても工事成績を加点します
- ・部分的活用においても費用を計上します

○ ICTサポート制度の活用と拡充

ICT未経験企業や経験が浅い企業等を対象に、ICTの導入や実施段階等において必要な技術サポートをアドバイザーから受けられる仕組みを試行的に導入します

※i-Construction(アイ・コンストラクション)とは…

調査・測量から設計、施工、維持管理までのあらゆる建設生産プロセスでICT(情報通信技術)等を活用して建設現場の生産性向上を図る取組です。

建設現場の生産性向上を実現するため、トプランナー施策を先行的に進め、得られた知見等を踏まえて他の施策へ展開し、全ての建設現場への浸透を図ります。

●トプランナー施策

- ①ICTの全面的な活用(ICT活用工事等)
- ②全体最適の導入(コンクリート工の規格の標準化等)
- ③施工時期の平準化

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話(代表)011-709-2311

事業振興部 技術管理課

技術管理企画官 西村 敦史 (内線 5483)

開発専門官 唐澤 圭 (内線 5650)



北海道開発局ホームページ
<https://www.hkd.mlit.go.jp/>

i-Constructionの普及促進に向け、令和元年度に北海道開発局ICT活用推進部会を設置しました。令和2年3月25日に第2回目の部会を開催し、令和2年度のi-Construction推進に向けた新たな取組について決定しました。

[ICT活用推進部会] 新設

測量設計業務、工事、維持管理においてICTの活用を図りi-Constructionをより推進するため、北海道開発局i-Construction推進本部幹事会に「ICT活用推進部会」を設置し以下の検討を進める。

<構成員>

部会長 : 事業振興部長
副部会長 : 事業振興部調整官 (企画・防災)
幹事 : 技術管理課長
メンバー : 関係課の課長

<検討項目>

- ・ICT活用工事の増進
- ・3次元測量設計業務の増進
- ・ICTを活用した維持管理の推進
- ・事例の共有 など

※WGを設置し個別事項を検討

ICT活用検討WG

<構成員> 総括:技術管理課長 副総括:技術管理企画官
メンバー:関係課の官(補佐)

- <検討項目>
- ・ICT活用工事の推進方策
 - ・3次元測量設計の普及促進
 - ・BIMCIMの普及促進
 - ・河川および道路の維持管理についてICT等の新技術を用いた河川道路管理の効率化検討

個別課題については内容応じてメンバーを参集する

ICT活用推進部会の開催状況

第1回 令和元年10月7日(月)
第2回 令和2年3月25日(水)

ICT活用検討WGの開催状況

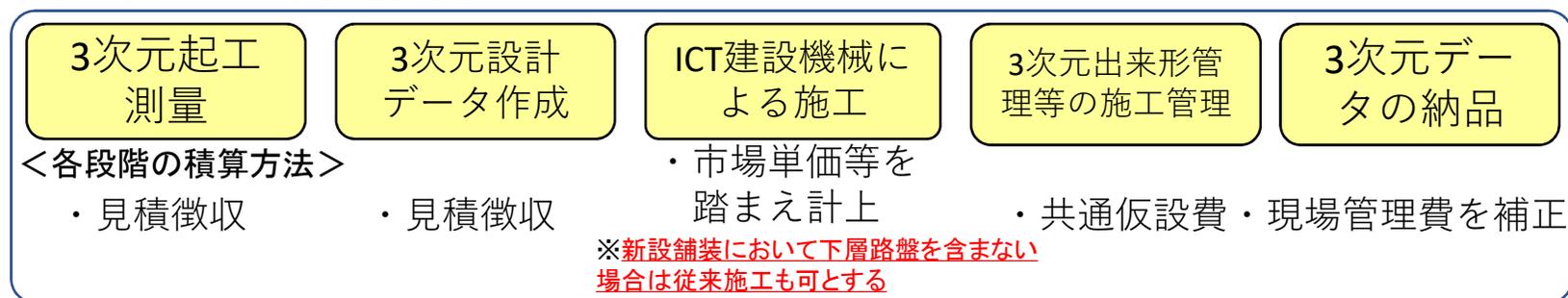
第1回 令和元年10月11日(月)
第2回 令和2年3月12日(木)

1 ICT活用工事の取組拡大（簡易型ICT活用工事の実施）

- 3Dデータ活用の普及拡大を進めるため、簡易型ICT活用工事を新たに導入。
- 対象工事において各段階における3次元データ活用に関する経費を変更計上の対象とする。

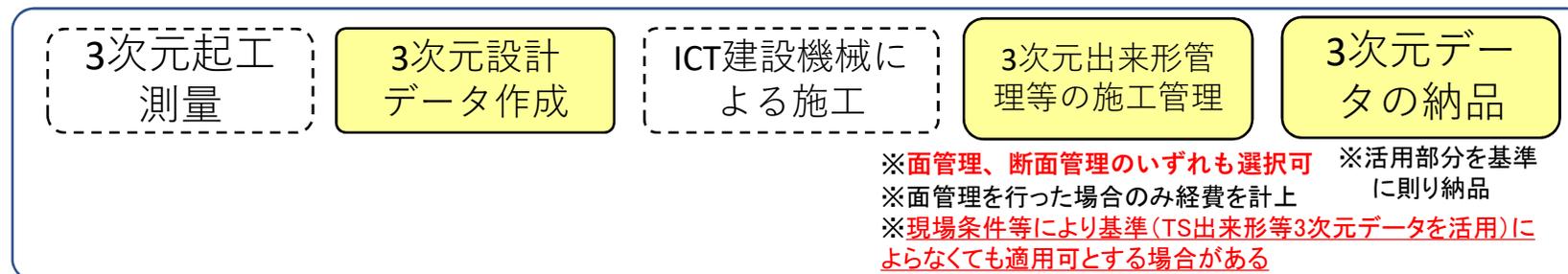
【通常のICT施工】

- 起工測量から電子納品までの全ての段階でICT活用を必須とする。
- 工事成績で加点・経費を変更計上



【ICTの部分的活用による施工】

- 起工測量から電子納品の各段階で部分的なICT活用を認める簡易型ICT活用工事を新たに導入。
- ただし、3次元設計データ作成、3次元出来形管理等の施工管理及び3次元データの納品での活用は必須とする。
- 工事成績で加点・各段階で経費を変更計上



2. ICTサポート制度の活用と拡充

○ICT活用工事の更なる普及を図るため **ICT未経験企業や経験が浅い企業等を対象に**、ICTの導入や実施段階等において**必要な技術サポートをアドバイザーから受けられる仕組みを**試行的に導入。

ICTの導入に
踏み切れない



サポートプログラム



ICTの積極的な
活用が可能！

【ICT導入時の問題】

- ・ICTにチャレンジしたいが、よくわからない。
- ・3次元データを扱える技術者がいない。 など

- ・各プロセスの範囲についてアドバイザーから技術サポートを受ける。
- ・発注者より受注者へICTのサポート団体報を提供
(**アドバイザーに要する費用は設計変更の対象とする**)

【ICTの効果】

- ・ICT活用し効率化や安全性の効果を体験し、更なる活用を図る。
- ・効率化を図り働き方改革につながる。

■ICT活用工事のプロセス



各段階でアドバイザーからサポート

サポート範囲は自由選択可能
(全てでも、一部でも可)

- ・サポート範囲については受発注者間で協議し、各段階の専門家等を受注者に情報を提供
(アドバイザーとの詳細な調整は受注者が行う)
- ・対象工事は受注者希望Ⅱ型とし、通常のICT土工と同様に工事成績評定で評価する。
- ・ICT活用工事未経験企業や経験が浅い企業等を対象とし、同一受注者が複数回活用することは不可。